

平成 22 年度 陵墓関係調査報告

陵 墓 調 査 室

調査の概要

書陵部陵墓課陵墓調査室においては、「周知の遺跡」や文献に記載等があることにより、遺跡の可能性がある陵墓において、保全・整備のための土木工事などを実施するに際して、その施工区域・箇所における遺構・遺物の有無を確認し、工法の決定に資するという目的のため、事前調査・立会調査を実施しているところである。

平成 22 年度においても、各陵墓監区事務所や京都事務所などの関係機関、さらには地元教育委員会とも協力し、以下の区域・箇所において調査をおこなった。その概要を記すこととする。

〔事前調査〕 3 件

本年度は、以下の 3 件の事前調査（予備調査を含む）を実施した。1 の三吉陵墓参考地についての報告文は後掲することにする。

1 三吉陵墓参考地（奈良県北葛城郡広陵町）外構柵整備工事に伴う調査

畠傍監区、10・11月実施、担当：清喜裕二・横田真吾

2 豊島岡墓地（東京都文京区大塚 5 丁目）埋蔵文化財調査

多摩監区、1・2月実施、担当：徳田誠志・加藤一郎

豊島岡墓地は、一部を除き「周知の遺跡」とはされていないが、今後とも皇族墓が営建される可能性が高いところであるので、機会を見て埋蔵文化財の有無を調査しているところである。その報告に関しては、平成 23 年度にも、同墓地内の埋蔵文化財調査を予定していることもあり、その調査結果がまとまった段階で併せておこなうこととしたい。

3 東百舌鳥陵墓参考地（大阪府堺市北区百舌鳥西之町）墳塁護岸整備工事に伴う調査

古市監区、2月実施、担当：徳田誠志・清喜裕二

本参考地においては平成 24 年度に、墳塁護岸整備工事に伴う事前調査を予定している。そのための予算措置をおこなうに際し、積算のための客観的なデータ取得を目的とし、4 箇所の小トレンチを設け、予備調査（試掘調査）をおこなった。調査の詳細については、事前調査の結果と併せて、後日報告することとしたい。

〔立会調査〕 19 件

4 桃山陵墓地（京都市伏見区桃山町古城山）御休所整備工事に伴う調査

桃山監区、9～11・2月実施、担当：坂本博史・高濱繁伸・角野陽香

桃山陵墓地内にある御休所を整備することになり、廁棟の建物基礎石据え直し箇所、地中給排水管・電気配管埋設箇所、雨水排水管設置箇所、雨水樹設置箇所、それぞれの掘削（最深約 0.9 m）・埋戻しに立ち会った。いずれも、掘削は盛土・攪乱層内にとどまり、地山は確認できなかった。雨水樹設置箇所においては、煉瓦積の旧排水樹を確認したものの、遺構・遺物は認められなかった。

5 安徳天皇阿弥陀寺陵（山口県下関市阿弥陀寺町）土壙改修等工事に伴う調査

桃山監区、10月実施、担当：徳田誠志・寺岡慎太郎・平尾伸也

本陵の周囲には土壙が繞らされている。その南西側の壙の南半分の内側に 5 箇所の控壁を取設することになり、その掘削（深さ約 40 cm）に立ち会うとともに、正門背後の水路改修に係る掘削（深さ約 30 cm）にも立ち会った。前者は旧水路の石組がそのまま埋められており、今回の掘削深度は、この石組を取り外

しただけであった。また、後者は拝所造営時の盛土内での掘削にとどまった。ともに遺構・遺物の出土はなかった。

6 仲野親王高畠墓（京都市右京区太秦垂箕山町）外構柵改修工事に伴う調査

桃山監区、11月実施、担当：鎌谷幸一・今井隆太朗

本墓の後円部側（西側）の外構柵を改修することになり、その掘削・埋戻しに立ち会った。既存コンクリート基礎の裏側に上部から滑落した堆積土、および埋戻し土だけの掘削であり、遺物・遺構は確認できなかった。

7 仲哀天皇殯斂地（山口県下関市長府侍町 日頬寺内）駒形制札改修工事に伴う調査

桃山監区、3月実施、担当：今出伸一

参道入口にあった駒形制札を階段部前面に付近に移し、新設することになり、その掘削・埋戻しに立ち会った。地表下約20cmでコンクリートの構造物が出土したため、それを避け、床面で30cm×15cmの範囲を最深で約60cm掘削した。過去に施工した排水溝工事の際の埋戻し土であることが知られた。遺物・遺構の検出はなかった。

8 宇治陵14号（京都府宇治市木幡）門柱改修その他工事に伴う調査

桃山監区、3月実施、担当：奥野 肇・篠崎秀雄

宇治陵は、藤原氏出身の宇多天皇女御中宮温子以下20方（17陵3墓）の墓地の総称で、37箇所に分かれている。陵墓管理上、それぞれに1～37号の番号を付し、字中村に位置する1号地を総遙拝所にあてている。14号地は字南端にあり、宇治陵ではもっとも南に位置している。現状で一辺10m未満の方墳である。その門柱を改修することになり、掘削・埋め戻しに立ち会った。もっとも深く掘削した箇所（約85cm）の床面には一部、茶褐色の粘質土が認められ、地山と考えられた。その直上には、在来門柱の基礎の裏込めと思われる多数の礫が認められた。遺物・遺構は認められなかった。

9 高倉天皇皇后徳子大原西陵（京都市左京区大原草生町）ほか参道手摺取設その他工事に伴う調査

月輪監区、10月実施、担当：川下幸誠（大原西陵）、瀬尾義弘（鳥戸野陵）

上記件名には、大原西陵と鳥戸野陵（京都市東山区今熊野泉山町）が含まれているが、手摺取設については、石やコンクリート敷内のコア抜き工法であり、掘削はおこなわなかった。ただし、大原西陵において、水路の修繕の際、石張りを撤去することになり、その撤去に立ち会った。石張りの下には腐植土や赤土が認められた。遺構・遺物は確認されなかった。

10 泉山陵墓地（京都市東山区今熊野泉山町ほか）排水路整備工事に伴う調査

月輪監区、11～2月実施、担当：山本昌弘・安江竜太

本陵墓地内に位置する後堀河天皇観音寺陵と英照皇太后後月輪東北陵の間は、谷地形をなしており、そこには排水路が設けられている。今回、その排水路を整備することになり、掘削（最深で約6m）に立ち会った。上流部にあたるふとん籠設置箇所（延べ20m）においては、粘質土や砂質土など3～5層を確認した。自然堆積により形成された土層である可能性が高いように思われた。排水路整備箇所（延べ64m）は、上層に粘質土・砂質土の堆積が見られ、下層は岩盤となっていた。一部に盛土と考えられる土層が認められるが、多くはふとん籠設置箇所と同様に自然堆積の可能性が考えられる。遺構や遺物は確認されなかった。

11 後嵯峨天皇皇后姑子粟田山陵（京都市左京区南禅寺福地町 南禅寺内）石柱金具改修その他工事に伴う調査

月輪監区、1月実施、担当：藤原雅人・山本在大

本陵の拝所を囲む石柵の内、奥側に位置する向かって左隅の石柱（2本）の据直しに伴う掘削・埋戻し（深さ約0.5m）に立会った。土層は3層分が確認され、上層は表土、中・下層は既存石柱設置の際の掘方埋め戻し土であった。遺構・遺物は認められなかった。

12 二條天皇香隆寺陵（京都市北区平野八丁柳町）ほか駐車場その他整備工事に伴う調査

月輪監区、2月実施、担当：岩槻知樹・松村一成

標記件名のもと、二條天皇陵、および一條天皇火葬塚以下二火葬塚（京都市北区衣笠鏡石町）それぞれにおいて、掘削・埋戻しに立ち会った。二條天皇陵では参道入口部の車止め基礎設置（4箇所、深さ約0.7m）に立ち会い、表土、過去の工事の際の埋戻し土（二層に区分できる）、地山の可能性のある堅い粘質土を認めた。また、一條天皇火葬塚以下二火葬塚においては、南側境界沿いの外構囲障設置（5箇所、深さ約0.8m）と土堤法面復旧に立ち会った。前者では明褐色粘質土が確認されたものの、掘削面積が狭く、その性格は明確にしえなかった。後者では、土堤法面は崩落土砂を除去したのみであった。遺構・遺物は認められなかった。

13 開化天皇春日率川坂上陵（奈良市油阪町）駐車場補償工事に伴う調査

畝傍監区、7月実施、担当：鎌田幹史・上原孝浩

昨年度に引き続き、三条通の拡幅工事への用地協力に伴い、参道入口部にある駐車場敷地の位置が変更するための奈良市による補償工事に係る掘削・埋め戻しに立ち会った。今年度の掘削は、舗装止め石材設置（深さ約0.3m）、および車止め設置（7箇所、深さ約0.9m）に伴うものであった。掘削は、奈良市により先行して三条通に沿って南側に設置されたU字溝設置時の埋め戻し土の範囲内であり、遺構・遺物も認められなかった。

14 景行天皇山辺道上陵（奈良県天理市渋谷町）樋門その他改修工事に伴う調査

畝傍監区、1月実施、担当：本多 均・古河稔也・徳永真明・堂園雅章

本陵には高低差のある濠が繞っており、前方部正面北側から時計回りに一号濠、二号濠、…十号濠となっている。そのうち、1) 前方部の一號濠から三号濠にかけての北側外堤の外構柵改修（深さ約0.5m）、2) 四号濠、五号濠、それぞれの西側渡土堤にある樋門改修、3) 一・二号濠間、二・三号濠間の余水吐改修、4) 駐車場下水管接続（深さ約0.6m）、各々に伴う掘削・埋戻しに立ち会った。1) の基本層序は表土、近世の盛土（黄褐色粘質土）の2層のみであり、古墳築造時の外堤面は検出されなかった。2) の樋門改修箇所においては、堆積土を除去したのみであった。3)の一・二号濠間については、10cm弱の掘削であり、外構柵改修箇所で検出された近世の盛土と同じ土層と考えられた。また、二・三号濠間においては、既存の余水吐のコンクリートをはつたのみであった。4) では、掘削が既設の下水管設置時の掘削範囲内であった。いずれにおいても、遺構・遺物は確認されなかった。

15 神武天皇畝傍山東北陵附属地（奈良県橿原市四条町）排水路整備工事に伴う調査

畝傍監区、2月実施、担当：平木和史・藤田 裕

綏靖天皇桃花鳥田丘上陵の東側を縦走する県道161号線と、その北側を東西に走る国道165号線の交差点付近の東南部に位置する排水路を整備することになり、その掘削（深さ約0.7m）等に立ち会った。その基本層序は表土、黒茶色土（近年の盛土）、青灰色粘質土（排水路内の堆積土）のみであり、遺構・遺物も検出されなかった。

16 欽明天皇桧隈坂合陵（奈良県高市郡明日香村大字平田）参道法面復旧工事に伴う調査

畝傍監区、3月実施、担当：寺本公通・堂園雅章

本陵の参道法面が崩落したことにより、復旧することとなり、参道縁石の据直しに伴う掘削（深さ約0.1m）、法面へのプラ擬木柵の打込み作業に立ち会った。過去の掘削箇所の再掘削にとどまり、参道造成時の盛土と考えられた。遺構・遺物は認められなかった。

17 雄略天皇丹比高鷲原陵（大阪府羽曳野市島泉八丁目）外構柵その他整備工事に伴う調査

古市監区、7・1月実施、担当：横田真吾・安岡徹悦・笛尾佳裕

報告文は後掲する。

18 後嵯峨天皇后姑子分骨所（大阪府南河内郡太子町大字太子 叡福寺内）土壠改修その他工事に伴う調査

古市監区、11月実施、担当：井上 武・近藤時男

聖徳太子磯長墓の東に隣接する姞子分骨所は、四周を土塀に囲まれている。その正面内側に集水枠を設置することになり、その掘削（深さ約 0.5 m）・埋戻しに立ち会った。表土下には、礫混じりの茶褐色土と土管を確認した。集水枠設置箇所は土塀に近く、土管も埋設されていることから近年の埋戻し土と考えられた。遺構・遺物も確認されなかった。

19 百舌鳥陵墓参考地（大阪府堺市北区百舌鳥本町）墳塁裾護岸工事に伴う調査

古市監区、11月実施、担当：徳田誠志・佐々木靖秋・濱田武典

本陵については、平成 20 年度に墳塁裾護岸工事に伴う事前調査を実施し、その報告を本誌第 61 号でおこなったところである。平成 22 年度は事前調査の所見をふまえ、護岸工事を施工するに際し、立会調査を実施した。報告文は後掲する。

20 安閑天皇皇后春日山田皇女古市高屋陵（大阪府羽曳野市古市五丁目）鉄扉改修工事に伴う調査

古市監区、12月実施、担当：小走直敬・須藤周太・中野裕樹

本陵の拝所の東側に位置する鉄扉を改修することとなり、その基礎部の掘削等に立ち会った。掘削は約 0.4 ~ 0.5 m おこない、表土と既設鉄扉取設時の埋戻し土を確認した。遺構・遺物は認められなかった。

21 安閑天皇古市高屋丘陵（大阪府羽曳野市古市五丁目）外構柵改修工事に伴う調査

古市監区、1・2月実施、担当：小走直敬・中野裕樹

本陵の後円部東側外堤において、外構柵（長さ 60.9 m）を改修することとなり、そのための掘削（深さ 0.3 ~ 0.5 m）・埋戻しに立ち会った。既存コンクリート基礎の再利用のため、その上に堆積した土の除去にとどまった。遺構・遺物は確認されなかった。

22 反正天皇百舌鳥耳原北陵（大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町二丁）外構柵改修工事に伴う調査

古市監区、2月実施、担当：佐々木靖秋・濱田武典

本陵では、外構柵改修工事を平成 21 年度に前方部西側隅角付近外堤で施工したが、22 年度は後円部北東側外堤（長さ 62.4 m）においておこなうこととなり、掘削を要する場所において、掘削等（深さ約 0.4 m）に立ち会った。既設コンクリート基礎の利用・嵩上げのため、その基礎部分を露呈させるための掘削にとどまった。遺構・遺物は認められなかった。

平成 22 年度には、上記調査以外に、以下のような調査も実施した。

〔墳丘調査〕 1 件

23 景行天皇皇后播磨稻日大郎姫命日岡陵（兵庫県加古川市加古川町大野字日岡山）

桃山監区、3月実施、担当：清喜裕二・横田真吾・藤井 真・高比良裕喜・松尾康正

墳丘部を中心とした現況測量（縮尺 1/100、25 cm 等高線）を実施した。その詳細は後掲する。

〔所蔵出土品関係資料調査〕 3 件

書陵部で保管している出土品に關係する調査を、所蔵者の協力を得て以下の 3 機関においておこなった。

24 宇治市歴史資料館（京都府宇治市折居台）

3月実施、担当：横田真吾

宇治陵（京都府宇治市木幡）付近から出土した埴輪の調査を実施した。

25 奈良県立橿原考古学研究所（奈良県橿原市畝傍町）

3月実施、担当：清喜裕二

葛本弁天塚古墳（奈良県橿原市新口町）の出土品の調査を実施した。

26 天理市埋蔵文化財センター（奈良県天理市田部町）

3月実施、担当：清喜裕二

繼体天皇皇后手白香皇女衾田陵（奈良県天理市中山町）関連出土品の調査をおこなった。

（福尾正彦）